

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書（超短期プログラム用）

2015年 9月 25日

東京大学での所属学部/研究科・学年（プログラム開始時）：PEAK JEA

参加プログラム： 派遣先大学：Berlin free university

卒業・修了後の就職（希望）先：.研究職 2.専門職（医師・法曹・会計士等） 3.公務員 4.非営利団体
5.民間企業（業界： ） 6.起業 7.その他（ ）

派遣先大学の概要

urban places and spaces: analysing and exploring berlin

参加した動機

ベルリンの歴史を知るため

参加の準備

プログラムの参加手続き（手続きにあたってのアドバイスなど）

数ヶ月前に準備すること。5__6月まで置いとくとストレスで大変です

ビザの手続き（ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど）

医療関係の準備（出発前の健康診断、予防接種等）

保険関係の準備（加入した海外旅行傷害保険・留学保険等）

大学が進めた保険に入りました。

留学にあたって東京大学の所属学部・研究科で行った手続きなど（履修・単位・試験・論文提出等に関して）

単位は多分貰えないと思いますが、それでもとても良い体験なので進めます。

語学関係の準備（出発前の英語レベル・語学学習等）

日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

学習・研究について

プログラムの概要（授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等）

フィールド・トリップが多かったのが、実際授業中に学んだ場所に実際行くことができました。

学習・研究面でのアドバイス

英語で読む内容が多いので、十分に時間を置いて読んだ方が良いでしょう。後、ディスカッションも多いので積極的に話しましょう！

語学面での苦労・アドバイス等

特になし。

生活について

宿泊先（種類（寮・ホームステイ・ルームシェア等）、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など）

air bnb を選択しました。おすすめです。寮は町から遠いくて、ホームステイは高いので自己で泊まる場所を探した方が良いと思います。air bnb というサイトを使うといいです。

生活環境（気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法（海外送金・クレジットカード）など）

町中だったので、とても便利でした。デビットでお金を取り出していました。

危機管理関係（留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など）

要した費用とその内訳（航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算）

奨学金（受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など）

貰えました。東京大学を遠し

学習・研究以外の活動（スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末の過ごし方など）

ドイツ人の友達が何人か既にいたので、彼らとよく会っていました。

派遣先大学の環境について

参加学生へのサポート体制（語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等）

あまり期待しない方がいいかもしれません。

大学の設備（図書館・スポーツ施設・食堂・PC 環境等）

あまり期待しない方がいいかもしれません。

プログラムを振り返って

プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

前から気に入っていた街だったので、年々願っていたベルリン体験ができました。1ヶ月間でしたが、その間に存分にベルリンの歴史と文化を体験することができました。

参加後の予定

ベルリンの後にデンマークへ半年の留学をします。留学先で、大学院への応募と卒論の準備をします。

今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

ぜひ、行ってみてください。

その他

準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。